

# ひだまり通信

## “看護師になりたい人の必携 Handbook” できました。

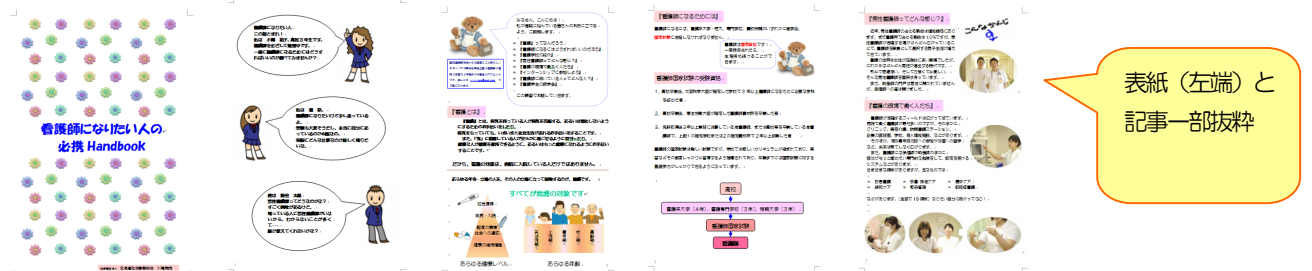
看護部では「看護師になりたい」「看護という職業に興味を持っている」高校生を対象にした『看護師になりたい人の必携 handbook』を作成いたしました。

高校生対象には現在もインターンシップの受け入れを行っていますが、インターンシップ参加に希望を出しそびれたり、興味はあるけれど、インターンシップに出る人は限られているので他の人に譲ってしまった人などが実際にいるのではないかと考えました。

また、ずいぶん昔の話ですが、自分が進路を決めるときに、的確なアドバイスや、真に欲しい情報が不足してことなどが思い出されます。

長い人生だからやり直しはきくかもしれませんが、できれば判断材料となるソースは多いに越したことはありません。そこで、高校生むけにこのようなブックレットを配布することを考えましたが、もちろん、当院のことを知っていただくチャンスとも捕らえました。高校生にとってもわかりやすく、読みやすいものになるよう、そして当院のことも知っていただけるように意識して作成しました。

このブックレットは小樽市内の全ての高校、札幌市手稲区の高校に配布を予定しています。なお、希望される方には無料で差し上げますので、坂本までご連絡下さい。(坂本)



表紙 (左端) と 記事一部抜粋

## 看護部エンゼルケア研究会より、デスカンファレンスの報告

今年度より、看護部だけの構成ですがデスカンファレンス (他により名称を考案中です。) を実施しています。まだ 2 回だけの開催ですが、エンゼルケア研究会のメンバーはもちろん、興味のあるスタッフが自由に参加できるようになっており、活発な意見交換が行われました。1 回目は持ち寄った症例についての看護の振り返り、エンゼルケアについての考え方などが焦点となり、2 回目は症例をきっかけに、自分たちの考えや大切にしていること、気になっていることなどを話し合うことができました。各部署の現状などを気軽に質問したりもでき、お互いに学ぶことも多いです。自分たちの看護を見直す機会となっています。

本来のデスカンファレンスは、患者様に自分たちが提供してきた医療について医師・看護師・薬剤師・MSW・理学療法士・栄養士など多職種で、患者様が亡くなられたあと時間をあけずに話しあうものだと思いますが、一斉に集まりカンファレンスの場をもつことは現状では難しいです。そこで、今年度は看護部だけのカンファレンスから始めようということで、少しずつ活動しています。

カンファレンスを通して看護観・死生観・倫理観を見つめ直し、今後の看護に活かしていきたいと考えています。

堅苦しいものではないので、興味のある方、時間のある方は、ぜひ参加してください。お待ちしております。(藤田)

